

チュウモクは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています



持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

■チュウモクのSDGs

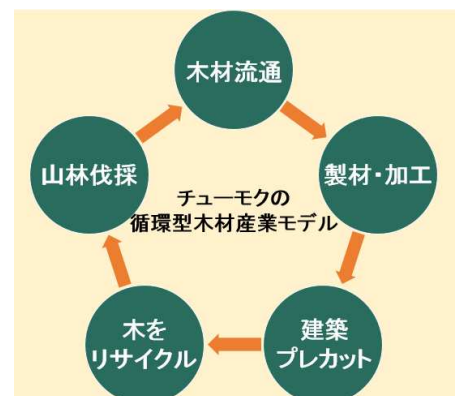
地域密着企業として、事業活動のみならず、豊かな地域づくりに向けて日々貢献しています。その中でも自分たちに出来る持続可能な開発目標を定め、持続的な社会のため取り組んでいきます。

1. 循環型木材産業の追及



循環型木材産業モデルを掲げ、資源の有効活用に取り組みます。

- 木材の製材・加工、プレカットの過程で出る端材のリサイクルから木材チップやバーク堆肥化など、木資源の循環利用を追求します。
- 山林の伐採から抜根、リサイクルまでを一貫とした環境に優しい工事に取り組みます。
- 間伐材や端材丸太を木材チップとしてパルプ原料に変え、森林資源の有効活用に取り組みます。
- 自然のバーク（樹皮）を堆肥化し、肥料、土壌改良剤・緑化工事資材として、自然に還します。



2. 木材利用のポテンシャルを引き出す



地域材をはじめとした木材の幅広い利活用に取り組みます。

- 地域材の地産地消に取り組みます。
地元の富山県南砺市（福光）産材を使用した木造倉庫を建築するなど、地域材の利活用を推進しています。
- 大規模建築物や大空間住宅などの木造化を広めます。
プレカット工場には大断面の木材加工が出来るプレカット加工機を導入しています。
木材を使用した温もりのある大型住宅/非住宅の建築に可能性を拡大します。
- 違法伐採防止のため、合法木材の利用に取り組みます。
合法木材供給事業者認定、クリーンウッド法に基づく第一種、第二種登録木材関連事業者の認証を取得しています。
この認証は合法木材の利用・管理を適切に行っている会社
にのみ登録することができます。



地域材を使用した木造倉庫



第一種、第二種登録木材関連事業者

3. チューモクの家 ～地域密着・人と環境にやさしい家づくり～



チューモクは人に優しい、環境に優しい家づくりに取り組みます。

- 環境に優しい（木材の炭素固定化）木造住宅の建築に取り組みます。
- 木材の自然素材にこだわり、温もりのある家、健康になる家に取り組みます。
- 高断熱でエネルギーを極力必要としないゼロエネルギー住宅に取り組みます。



ジュートピア富山展示場



築150年の民家を大改修 古民家再生の家